

東谷

農村歌舞伎祇園座公演

第19回

令和6年

4月28日

10時—14時半

観覧無料

農村歌舞伎小屋「祇園座」

高松市香川町東谷1550番地平尾八幡神社境内

主催 ● ユネスコ未来遺産運動登録団体

香川町農村歌舞伎保存会

—農村歌舞伎祇園座—

香川県高松市香川町東谷に伝わる「農村歌舞伎祇園座」は江戸時代後期の文政年間（1818～1830）に、阿波（徳島県）へ藍染めの出稼ぎに行った若者たちが習ってきた芝居を、地元平尾八幡神社の祭礼に演じたのが始まりと言われていた。古くから伝わる座名も、下谷地区に歌舞伎をしていた者が多くいたため「下谷歌舞伎」「下谷若連中」と呼ばれていたが、東谷の人々が朝夕持つ祇王山（愛称「ぎおんさん」）に因み「祇園座」と改称され今に至る。

■香川県指定無形民俗文化財〔昭和40年〕

■高松市指定有形民俗文化財〔昭和61年〕

